



飛島中学校だより

平成29年
1月15日発行
[電話番号]
96-3009

新年あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。穏やかな気候の中で元旦を迎えることができました。皆様にとって良い一年になるようお祈りいたします。

さて、学校は1月10日（火）に3学期が始まりました。3学期は50日間しかありません。1日1日を大切にしたい指導を心がけてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



3学期始業式 校長の話「青山学院大駅伝強化策最初の一手」



正月といえば箱根駅伝ですが、優勝は3年連続で青山学院大学でした。青山学院の原晋監督は、実業団の陸上選手として中国電力に入りましたが、けがのため競技生活5年間で陸上から離れ、営業マンとして実績を上げた異色の監督です。

その原監督が14年前青山学院の駅伝部の監督になった頃のチームの状態は今とは全く異なり、優勝はおろか予選会を抜けることすらできないチームだったのです。その状態から今のような強いチームに変えるためにどんなことをやったのでしょうか。箱根予選会落ちのチームには高校で実績を

上げている強い選手はなかなか来てくれません。ですから、強い選手から入学してもらうことができる大学とは違った選手育成の考え方があったのだと思います。

原監督のインタビュー記事を読むと、最初に取り組んだのは「自分から相談してくる選手」を育てるとのことだそうです。そのために、原監督はまず「相談するということか」ということを教えることから始めました。

たとえば選手が「足が痛いです」と来たら、それは相談ではなく報告なので、質問を監督が重ね「治るまでどのくらいの期間が必要で、そのためにどんな努力をする。」ということが言えるようにし、そのことについて監督として意見を言うようにしたということです。これは口で言うのは簡単ですが、選手がそれだけのことを言えるようになるためには、自分のけがの状況やその克服方法やそのけがの期間の練習方法について、情報を整理して、さらに対策を自分で考えてくる必要があります。このことを徹底して続けてきた結果、選手の主体性に支えられた、競技力の高いチームができたわけです。

また、箱根駅伝の放送を見ていて感心するのは、青山学院のどの選手も、インタビューの受け応えが、大変上手です。これは、いつも自分で考え、監督と相談することがあたり前になっているので、感激の中にも冷静に的を得た受け応えができるのでしょう。

競技のステージは違うものの、新君も青山学院の選手たちと同じ長距離競技に取り組む選手として学ぶ点があると思います。

今年は文武両道を目指し中1から中2へステップアップする勝負所の年です。自分で考え、学び、競技に取り組む人をめざしてがんばりましょう。

三学期の抱負

1月の行事予定



1年 澁谷 新
年が明けて10日が経ちました。この10日間は課題の仕上げに一所懸命取り組んできました。僕はこの3学期を努力の学期にしたいです。

まずは、明日の課題テストでこの10日間の成果を出せるように頑張ります。その勢いで勉強時間を2時間と決めずに、時間の許す限り取り組むようにしようと思います。そして、今度こそ定期テストで目標を達成しようと思います。

部活動では、一つ一つの動きを丁寧にし、自分をもっと追い込め20力や体力をもっと高めたいと思います。そして、今から2年生になってからの大会のために準備していきたいと思います。

また、3学期は冬から春に変わる学期でもあるのでその日その日にあった服装で過ごすなど、体調管理に気をつけて今学期も欠席0でいきたいと思います。

3学期はとても短い学期ですが、責任ある行動をとることとともに、学校生活を楽しく過ごし、立派な2年生になれるよう努力したいと思います。

一筆入魂

12日（木）の2・3校時に書初めを行いました。課題は、「新たな決意」です。

自分の名前が入った課題ですので、気合も普段



以上に入っているように感じました。校内に展示するほか、酒田市文化センターで1月20日～26日に行われる酒田市小・中学校書き初め展にも出品します。

日	曜	こ と が ら
1	日	元旦
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	3学期始業式 職員会議
11	水	発育測定 課題テスト
12	木	
13	金	避難訓練
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	読み聞かせ
19	木	委員会活動
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	生徒集会
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	職員会議（次年度教育課程編成）
31	火	